

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	急変時、緊急時の対応については定期的な勉強会や研修会を開催していつ起きても対応できるようにしているつもりであったが、先日3月3日に利用者様の急変(心肺停止状態を発見)時に、若干パニックになってしまった事、後から振り返ると整備する必要があるところと課題が浮き彫りになった部分がある。	いつ急変時に遭遇したとしても、職員各々が冷静に迅速に対応できるように、事業所のチームとしてのスキルアップは勿論、個々のスキルアップしていく。	年1回の消防署員による救命救急の勉強会のみでなく、不定期での事業所として、或いはユニット毎に急変時の対応が備わっているのかを確認していく。それを何度か繰り返す事で職員個々としてもチームとしても迅速に対応できる術が備わってくることに繋がると思われる。	12ヶ月
2	34	火災のみでなく、いつ何時どのような事が起きても(地震や水害なども含めて)迅速に対応できるように何度か訓練を行ったり、緊急連絡網などを使用した緊急招集訓練をしていく必要がある。	上記の目標と同様に冷静に迅速に対応できるように事業所チームとしてのスキルアップは勿論、個々のスキルアップを図っていく。	不定期での緊急連絡網を使った緊急招集訓練を実施したり、年2回の火災想定避難訓練だけでなく、普段から水害なども含めた避難訓練等を勉強会・研修会の一環として実施していく。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。